

## 令和6年度 修士論文

## 土木工学教育プログラム ※令和7年9月修了分も含む

番号	指導教員	題 目
1	尾上 幸造	電気炉酸化スラグ細骨材を用いたセメント硬化体の力学特性に関する検討
2	尾上 幸造	火山ガラス微粉末と高炉スラグ微粉末を用いたAAMモルタルの諸性質に及ぼす養生条件の影響
3	松村 政秀	横力を受ける支承サイドブロック取付ボルトの耐荷性能および設計法に関する研究
4	金 洙列	長期予測に対応できる海浜変形予測モデルの開発に関する研究
5	松村 政秀	滑り構造の性能評価および滑り構造を活用する橋梁構造に関する研究
6	椋木 俊文	X線CTを用いた砂-高含水比ベントナイト混合土中の気泡特性の評価
7	金 洙列	模型データを用いた経験的海浜変形モデルの開発に関する研究
8	川越 保徳	淡水性細菌と海洋性細菌の混合培養系による一槽型部分亜硝酸化-Anammox法の確立
9	金 洙列	新たな沖合波追跡手法を用いた高潮・波浪・越波・越流予測モデルの精度検証
10	松村 政秀	温度変化を受ける曲線箱桁橋および支承部の挙動に関する解析的研究
11	皆川 朋子	球磨川及び緑川流域における魚類の潜在分布モデルの構築と保全上重要エリアの選定
12	張 浩	石かご水制工周辺の局所地形変動特性に関する実験的研究
13	尾上 幸造	高炉スラグ微粉末と炭酸カルシウムを主原料とする脱炭素型モルタルの物性に及ぼす影響因子
14	オノ木 敦士	岩盤基質部の微小き裂を考慮した岩盤不連続面への流体注入シミュレーション
15	金 洙列	Numerical Modeling for Mangrove-considered Current-wave Interaction
16	川越 保徳	SF6をトレーサーとする実地下水の年代測定に関する基礎的検討

## 地域デザイン教育プログラム ※令和7年9月修了分も含む

番号	指導教員	題 目
1	星野 裕司	河川空間活用における官民連携体制と中心市街地への波及効果に関する研究
2	星野 裕司	熊本城下町の土地利用と氾濫挙動に見る治水思想の歴史的変遷に関する研究
3	石田 桂	入力変数の選定・前処理による深層学習による流量予報の改良
4	竹内 裕希子	中山間地域における地域防災の継続要因の抽出
5	田中 尚人	霞堤地域における浸水リスクと共存する伝統的実践知に関する研究
6	星野 裕司	震災遺構が形成する風景の解釈ー熊本地震で保存された震災遺構を対象としてー
7	田中 尚人	漁業者による森林保全活動に着目した風景保全に関する研究
8	川越 保徳	熊本県内主要河川の水質比較および土地利用と地質の水質への影響
9	柿本 竜治	効率性評価指標を用いた集約型都市に向けた経年分析
10	田中 尚人	熊本市中心市街地の公開空地における滞留可能性に関する研究
11	柿本 竜治	Travel Mode Choices Analysis Based on Machine Learning: A Case Study in Kumamoto, Japan